

高断熱化ニーズ対応！！

スタイロフォーム™ FG

JIS A 9521 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 3種bD XPS3bD

Fランク断熱材



熱伝導率：0.022 W/(m・K)以下

- 住宅金融支援機構の断熱材区分の最高断熱性能レベルであるFランクを実現
- 放射低減剤使用、及び、気泡形状の微細化

スタイロフォーム™ FGと従来3種品の気泡および気泡膜の比較

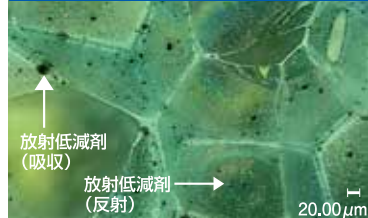
スタイロフォーム™ FGの気泡写真



従来3種品の気泡写真



スタイロフォーム™ FGの気泡膜写真



従来3種品の気泡膜写真



✓ 従来のスタイロフォーム™の優れた性能を継承

スタイロフォーム™ FGは、機械的強度が高く吸湿・吸水が少ないという特長を有しており、指定可燃物には該当しません。

✓ ノンフロン・ノンホルムアルデヒド・4VOC基準適合

✓ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種bA品と比べて20%の厚み低減が可能

✓ マテリアルリサイクル可能

✓ グリーン購入法特定調達品目(断熱材)適合

デュポン・スタイロ株式会社

製品区分	JIS A 9521 押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種bD (略号: XPS3bD)	
項目	単位	物性値
密度	kg/m ³	25以上
熱伝導率	W/(m・K)	0.022以下
透湿係数 (厚さ25mm当り)	ng/(m ² ・s・Pa)	145以下
圧縮強さ	N/cm ²	20以上
曲げ強さ	N/cm ²	25以上
燃焼性	—	3秒以内に炎が消えて、残じんがなく、かつ燃焼限界指示線を超えて燃焼しないこと
吸水量	g/100cm ³	0.01以下
ホルムアルデヒド放散区分	—	F☆☆☆☆等級
加熱変形温度 ^{※1}	℃	80
線膨張率	/℃	7 × 10 ⁻⁵
比熱	kJ/(kg・K)	1.1
酸素指数 ^{※2}	—	26以上

物性値は、JIS、ASTMあるいは自社試験法にもとづいた標準値です。

※1 加熱変形温度は短時間における加熱状態を想定した試験です。高温での使用に関しては弊社までお問い合わせください。

※2 酸素指数とは、材料を持続的に燃焼させるために必要な最低酸素濃度。26未満は消防法の取扱いにより指定可燃物となります。

省エネルギー基準^{*1}に基づく断熱厚み

■木造の住宅(充填断熱工法:その他の床)

			スタイロエース™-II	スタイロフォーム™ EX	スタイロフォーム™ FG
熱伝導率 W/(m・K)			0.028	0.024	0.022
部位	地域 ^{*2}	熱抵抗 R(m ² ・K/W)	mm	mm	mm
床 (その他の部分)	1~3 地域	3.3	95	80	75
	4~7 地域	2.2	65	55	50

*1 建築物省エネルギー基準(断熱等性能等級4相当)および誘導基準(断熱等性能等級5相当)の「仕様基準:断熱材の熱抵抗の基準」

*2 建築物省エネルギー基準による地域区分

<スタイロフォーム™の保管と注意事項>

- スタイロフォーム™**は、燃焼遅延剤を添加して、微小火源では着火しにくくしてありますが、燃える性質があります。保管、施工、特に溶接溶断に当たっては火気に十分ご注意ください。ストックヤードは工程等を考慮して火の気のない適切な場所に設けてください。特に**スタイロフォーム™**付近で鉄筋の圧接やコンクリート止めプレートの切断又は、セパレーターの溶接等で発生した火花によって**スタイロフォーム™**が溶融・着火の恐れがあるため、不燃材の鉄板や不燃シートなどで養生して火気に触れないようにしてください。
- スタイロフォーム™**は、酸、アルカリに対しては安定ですが、アルコール系以外の有機溶剤、石油類には侵されますので、使用接着剤・塗料の選択及び木造住宅での防蟻・防蟻薬剤の選定及び使用方法については、事前にそれらのメーカーにお問い合わせください。溶剤を使って作業する場合は十分に換気し、火気を使用しないでください。
- 直射日光及び熱や雨露を避けられる場所、湿気や水分を避けられる場所、風通しの良い場所を選び保管してください。直射日光の紫外線により**スタイロフォーム™**は紫外線劣化を受けます。
- スタイロフォーム™**の使用温度は80℃以下です。80℃を超えると徐々に変形し始めますので、高温での使用ならびに高温になる場所での保管はさけてください。
- スタイロフォーム™**は、軽量で取り扱いが容易な反面、風にあおられやすいので、強風下での作業は行わないでください。また、保管に当たっては端太角等おもりで飛散防止処置をしてください。
- 直接地面に接しないようパレット又は木材等を敷き平積みしてください。斜めに立て掛けると反り等のクセがつくので留意してください。
- スタイロフォーム™**は、局部荷重や衝撃には弱く割れやすい材料です。下地の無い箇所には乗らないでください。

<その他の注意事項>

- 1) フォームの屑が目に入った場合は、こすらずに流水で洗浄してください。
- 2) 熱線スライス等の煙の発生する作業を行う場合は、換気を十分に行ってください。
- 3) 廃棄の際には、法令に従って処理してください。燃やすと黒煙(スス)がでますのでご注意ください。
- 4) 鳥・鼠・昆虫等によって損害を受けることがあります。栄養源や餌にはなりません。

*カタログの内容、製品の物性や規格は予告なしに変更されることがあります。

お問い合わせは

DUPONT™ デュポン・スタイロ株式会社

本社/〒100-6111 東京都千代田区永田町2丁目11番1号 山王パークタワー
お問い合わせ(全般) <https://www.dupontstyro.co.jp/inquiry.php>
技術的なお問い合わせ/フリーダイヤル ☎0120-113210(イミズイロ)
<https://www.dupontstyro.co.jp/>



デュポン™、デュポンオーバルマーク、並びに™、®、及び◎表示のあるすべての商標は、米国デュポン社の関連会社の商標又は登録商標です。